

マレーシア：UMNOとPASのイスラム人脈

どちらが正統なイスラム政党か——昨年11月の総選挙で党勢を急速に拡大したイスラム至上主義政党の全マレーシア・イスラム党(PAS：野党第一党)か、政治的な失地回復のために一連の「イスラム政策」を打ち出した与党連合の中核政党・統一マレー国民組織(UMNO)か。マレーシアでは、多数派民族・マレー人の社会での政治的な主導権争いから、マレー系の与野党が熾烈な「イスラム化」競争を展開している。しかし、そこには華人やインド人を含む同国の多民族社会を本質的に揺るがしかねない危険が潜んでいる。

北部に「準イスラム国家」？

単一イスラム国家の樹立を党是にするPASは、昨年11月下旬の総選挙(下院：定数193)で、それ以前の8議席から27と議席を大幅に伸ばし、華人系の民主行動党(DAP、リム・キットシアン議長)に代わって野党第一党となった。与党連合・国民戦線(NF、総裁：マハティール首相)は3分の2の安定多数を上回る148議席を確保したものの、マレー系の中核与党UMNO(総裁：マハティール首相)に限ってみれば議席を92から72に減らしている。

アンワル前副首相の解任・逮捕事件以来、マレー人社会で「反マハティール」気運が広範に高まったこともあり、従来UMNOを支持してきたマレー人有権者の多くがPAS支持に転じたのだ。得票数で見れば、マレー人の半数以上がPASを含む野党連合・代替(オルタナティブ)戦線(AF)の候補を支持したことになる。

もっと劇的だったのは、同時に実施されたマレー半島11州の州議会選挙。PASは北部で1990年以来政権を担当するクランタン州に加え、初めてトレンガヌ州の州政権を獲得した。マハティール首相の「お膝元」クダ州でも善戦したPASは、マレー系人口が圧倒的多数を占め「イスラム教徒の心臓部」と呼ばれる北部4州(トレンガヌ、クランタン、クダ、ブルリス)で「支配政党」であることを見せつけた(下院議員数では、トレンガヌ、クランタンだけではなく、クダ州でもPASがUMNOを圧倒した)。

それでは、PASが野党連合の他の政党とともに、将来的に連邦政府を担う可能性はあるのだろうか。結論から言えば、UMNOが下院の全議席を独占した南部ジョホール州など人口密度が高い経済的先進州や、マレー人住民の割合が低い東マレーシアのサバ州、サラワク州などではPASが党勢を伸ばす可能性は少なくとも近い将来にはありそ

うもない。それでも、UMNOが次期選挙でトレンガヌ州を奪還できないばかりか、逆にPASが宣言しているようにクダ、ブルリス両州にもPAS政権が成立するというシナリオには現実味がある。

そうなると、PASが西マレーシア(マレーシア半島部)を実質的に二分する形で北部に「準イスラム国家」を確立することになる。UMNOが北部各州でのPASの伸張をくい止めることができなければ、「ポスト・マハティール」の連邦政府はPASをある種の権力分割構想に取り込む必要さえ生じるかもしれないのだ。

「トロイカ体制」のPAS最高首脳部

PASは政治的組織としては、ファジル・ノール総裁([人物データ・ファイル]参照、以下《p》)の下に、ハディ・アワン副総裁《p》と総裁補(2人)、書記長、財務責任者、青年評議会議長、女性評議会議長などを配している点でUMNOなどマレーシアの他の政治組織と類似している。違う点は、イスラム至上主義を掲げる「政教一致」の政党らしく、クランタン州首席相でもあるニック・アジズ・ニック・マット師《p》が最高顧問(霊的指導者)として総裁の上位に置かれていることだ。また、党の政策決定に重要な役割を担うウラマ(イスラム導師)評議会が党内機関として設置されている。

もっとも、実際にはニック・アジズ最高顧問とファジル総裁、それに(PASのトレンガヌ州政権獲得に伴い昨年12月に同州首席相に就任した)ハディ副総裁の3人は、一種の「トロイカ体制」の下にお互いを補完・牽制しながら党を指導する。3人ともイスラム教師の称号を持っているが、一般的にはファジル総裁が党の政治活動を、ニック・アジズ顧問が宗教面をそれぞれ担当している。

そして、いまクアラルンプールの外交筋が一番注目して

いるのが、3番目のハディ副総裁だ。有能な布教師として知られるハディ師はファジル総裁より宗教的・思想的に優れ、ニック・アジズ顧問よりは政治的に洗練されているとの評がもつばら。外交筋は「今後10年以内にマレーシアで最も重要な政治家として台頭する」と見る。アジア問題専門誌「Asiaweek」(2000年5月26日号)は恒例の「アジアの50人の権力者(Power 50)」特集でハディ氏を30位にランクした(注2)。

ハディ副総裁は首席相に就任後、トレンガヌ州の「イスラム化」に着手している。酒類販売店は華人社会などのための8店だけを許可し、ギャンブル場、風俗店などはすべて禁止。カラオケ店もイスラム教義に反する「娯楽」であるとして閉店。すべての女性には「自発的」にトゥドウン(ベール)を着用するよう奨励した。また、「窃盗の初犯に対して右手首を切断する」ことなどで知られるイスラム法(シャリーア)のハッド刑の導入も検討中だ。

PASはクランタン州とトレンガヌ州をイスラム教義に基づく政教一致社会のモデルにすると宣言しているが、低所得層が多い北部のマレー人社会はこうした「イスラム純化運動」の理想に共感しているようだ。また、PASがUMNOを汚職や縁故主義に満ちた「不正な」政党であるとして、「正義の」政党であるPASを支援する者にはアラールによって死後の幸福が保障される、と説いていることは衆知の事実になっている。

こうしたPASの「イスラム化」攻勢に対して、組織形態としては世俗主義政党でも、実質的に「イスラム教徒(マレー人)の守護者」を任じてきたUMNOも、一層の「イスラム政策」を打ち出し、マレー人社会での「失地」を回復する必要に迫られている。政府サイドでは、国際的なイスラム学者であるアブドゥル・ハミド・オスマン首相府相(宗教担当)《p》が中心になり、イスラム教徒の公務員全員に毎週2回の宗教講義への出席を義務付けた。また、UMNOの勢力基盤であるジョホール州には、同性愛を含む不正行為などにシャリーアに基づく鞭打ち刑を認めるなどの立法措置を講じた。これはスランゴール、クダー両州やクアラルンプールにも導入される予定。さらに、各省庁が連携してイスラム活動を促進する「国家イスラム活動委員会」と、80の非政府団体(NGO)から構成される「マレーシア・イスラム福祉委員会」も創設した。

党サイドでは、ムスタパ・モハマド情宣部長《p》が若手ウラマを党幹部としてリクルートする活動を推進している。マレー人社会の物質的福利を重視してきたUMNOにとって、この分野は住民の霊的幸福に力を傾注するPASに比べて大きく立ち遅れてきた。それは各地のモスクの活動にPASの影響力が大きいことにも現れている。UMN

O幹部のウラマといえば、80年代以来、ユソフ・ノール元公共企業相《p》やワン・モクタル・アーマド前トレンガヌ州首席相《p》ぐらいしか名前が挙がらないのが実情なのだ(しかも、2人とも昨年の総選挙で落選したことは、UMNOの宗教的影響力の欠如を象徴する出来事だった)。

狭量なイスラム至上主義の台頭

ところで、UMNOとPASというマレー系の与野党による「イスラム化」競争には、華人やインド人を含むマレーシアの多民族社会を本質的に揺るがしかねない危険が潜んでいる。

特に、大学では学生自治会が自らを「信仰の守護者」と称する急進派のマレー人学生グループに乗っ取られる傾向が出ている。これらの学生の中には、礼拝の妨げになるとの理由で、学生寮で非イスラム教徒と生活することに抗議する書簡を教育省に提出したものもある。当然、それに対抗するために、華人やインド人の学生組織も自らの民族や宗教の「純粋性」や「優越性」を強調し、「異民族間の協調・融和など何するものぞ」と公言するようになってきた。

政治学者のファリシュ・ノール氏は大学はマレーシア社会全体の「小宇宙」だとして、その大学で狭量なイスラム至上主義を掲げる学生が急速に増加していることは、イスラム教義への深い理解に関係なく、政治が表面的に「イスラム化」を進めていることの産物だと指摘している(Asiaweek 6月16日号)。

一方、6月1-4日にトレンガヌ州の州都クアラトレンガヌに2万5,000名の支持者を集めて開催されたPASの年次総会は、運営面では従来よりも世俗主義的な側面が強調されたものの、PASの原理主義的本質も随所に垣間見えた。同党の「青年親衛隊」ともいうべき緑の制服を着た「ユニット・アマル」が厳重な警備をする中、中東から来たイスラム原理主義組織ハマスの代表や、バングラデシュの過激派グループらが次々に登壇しアラブ語などで演説する。こうした様子を知った同州の華人社会が危惧を抱いたばかりか、参加したマレー人たちさえも奇異の念を持ったようだ。

マレーシアの与野党を超えた反西欧感情とも相まって、「イスラム化」競争は同国で国際的な原理主義グループが

(注1)マレー語では、UMNO女性部などで使われる Wanita (婦人・女性)ではなく、「イスラム女性」を示す Muslimat を用いている。

(注2)マレーシアから他に「50人の権力者」にランクインしたのは、マハティール首相(13位)、ダイム特命相兼蔵相(29位)、アブドゥラ副首相兼内相(33位)の各氏。

〔人物データ・ファイル〕

マレーシア与野党の主要なイスラム政策担当者および導師

与党第一党：統一マレー国民組織(UMNO)

■首相府相(宗教担当) Minister in the Prime Minister's Department(for Religion)
 アブドゥル・ハミド・オスマン
 Abdul Hamid Othman, Senator Datuk Paduka Dr.



エジプトのアル・アザール大学で修士号、英セント・アンドリュース大学で博士号を取得した世界的権威を持つイスラム学者。過去に国際コーラン朗読大会の開催などイスラム布教活動に貢献した。また、イスラム世界におけるマレーシアの影響力の増大に向けて積極的に行動してきたことでも知られる。

官僚時代から宗教行政にたずさわり、1990年に下院議員に当選し連邦政界入りした後は一貫して(インドネシアなどの「宗教相」に匹敵する)宗教行政担当首相府相を務め

てきた。

しかし、昨年(1999年)11月の総選挙で、僅差で予想外の落選(クダー州シク選挙区)。同氏は96年のUMNO最高評議会メンバー選挙(定員25人)でトップ当選したほど、全国の黨員間での人気は高いだけに、同氏の落選はUMNOの指導部に痛感させることになった。

マハティール首相とは同郷で、首相の同氏への信頼は厚い。選挙後、首相に上院議員に指名され、12月に成立した現政権でも首相府相に留任することになった。イスラム教徒の公務員を毎週宗教クラスに出席させたり、南部ジョホール州にシャリーア(イスラム法)に基づく立法措置を講ずるなど、一連のUMNOによる新しい宗教政策を推進している。

▼データ

【公職】首相府相(宗教行政担当)

【年齢】60歳(1939年生まれ)

【生地】クダー州

【学歴】(エジプト・カイロ)

アル・アザール大学で修士号取得(英スコットランド)セント・アンドリュース大学で博士号取得

【経歴】イスラム教師要請学校校長
 教育省教育担当ディレクター
 マレーシア国立(クバンサアン)大学講師

首相府イスラム関係局局長

1990：下院議員に初当選

首相府相(宗教行政担当)

1995：[5月]首相府相に再任

1999：[11月]総選挙で落選

上院議員に任命される

[12月14日]首相府相

(宗教行政担当)に再任

【党務】

1996：[10月]UMNO最高評議会メンバー(定員25人中1位で当選)

2000：[3月]同メンバーに再選(6位)

1999：[11月]総選挙で落選

(クランタン州ジュリ選挙区)

大蔵省顧問

【党務】

1993：UMNO最高評議会メンバー(定員25人中4位で当選)

1996：[10月]同メンバーに再選(3位)

2000：[3月]同メンバーに再選(2位)

[6月]UMNO情宣部長

【横顔】

・1987年以来、ダイム、アンワルの両蔵相の下で財政問題に取り組んだ後、95年からは公共企業省が改編された企業開発省の大臣として手腕を発揮した。クランタン州選出の政治家としては連邦政府の要職に就いた経験を持つ数少ない政治家である。

・アンワル副首相兼蔵相(当時)が98年9月に解任・逮捕された直後に、マハティール首相が蔵相を兼任(99年1月からはダイム特命相が兼任)した時に、首相を補佐する立場で企業開発相に加えて第二蔵相を兼任。

6位)。

▼データ

【公職】(元公共企業相)

【学歴】イスラム教学博士号

【経歴】マレーシア国立(クバンサアン)大学副学長代理(教務担当)

1984：州議会議員

首相府副相(宗教行政担当)

1986：下院議員に初当選

1990：下院議員に再選

公共企業相(-95)

【党務】

1987：UMNO最高評議会メンバーに初当選

1996：[10月]同メンバーに再選

(定員25人中6位)

UMNO情宣部長(-2000・6)

2000：[3月]同メンバーに再選(13位)

■UMNO情宣部長 UMNO Information Chief
 ムスタバ・モハメド
 Mustapa Mohamed, Datuk



6月上旬、ウラマ(イスラム導師)でもあるユソフ・ノール氏の後任として、UMNOの新情宣部長に就任。党の情宣活動の責任者という立場から「イスラム政策」でも主要な役割を果たすことになる。

95年総選挙で、(PASが90年の州議会選に勝利して以来州政府を握ってきた)クランタン州で下院議員に当選。その誠実な人柄には定評があり、先回(1999年11月)の総選挙でも議席を保持すると見られていたが、北部各州のマレー選挙民の間での「アンワル事件」に絡む強い反UMNOの潮流には抗しきれず落選した。現内閣では大蔵省顧問に就任。

UMNO情宣部長への就任は、同氏が過去に内閣で財政専門家として発揮してきた堅実な政策遂行能力を党務に生かそうとのマハティール総裁(首相)の思惑によるもので、特に宗教・思想面で野党連合に対抗する政策立案が期待されているようだ。

党内では、93年の役員選挙以来、最高評議会メンバーには常に上位当選しているように、全国黨員の広範な支持を得ている。

▼データ

【公職】大蔵省顧問(前第二蔵相)

【年齢】55歳(1945年生まれ)

【経歴】

1987：蔵相政務秘書官

1991：大蔵政務次官

1993：上院議員

副蔵相

1995：[4月]下院議員に初当選

(クランタン州)

[5月]企業開発相

1998：[9月]第二蔵相を兼任

《導師 Ulama(Islam Teacher)》

■ユソフ・ノール

Mohamad Yusof Noor, Datuk Dr



1980年代から、ワン・モクタル・アーマド前トレンガヌ州首席相とともにUMNO幹部中の代表的なウラマ(イスラム導師)として知られてきた。イスラム教学の博士号を持つ。90年から5年間公共企業相を務め、行政府での経験もある。

6月上旬にマハティール首相がムスタバ・モハメド大蔵省顧問(UMNO最高評議会メンバー)の後任に任命するまでは、UMNO情宣部長として党の「イスラム政策」の主要な責任者だった。特に、昨年(1999年)11

月の総選挙前には、PASの影響力が強い北部のクダー、プルリス、クランタン、トレンガヌ各州でPASの「UMNOは反イスラム」との批判に対抗する情宣活動を展開したが、結果は(州議会選挙で)従来のクランタン州に続いてトレンガヌ州の州政府をPASに奪われたばかりか、下院議席数でもUMNOの大幅な議席減少となった(ムスタバ新情宣部長が6月に入って、UMNO幹部に若手ウラマをリクルートする計画を発表したのは、ユソフ氏ら少数の古参ウラマだけではUMNOの「イスラム政党」としてのイメージを打ち出せないを見たからに他ならない)。

しかし、UMNO内での同氏に対する尊敬や人望には一定のものがああり、3月の党役員選挙でも最高評議会メンバー(選出：定数25)に13位で当選している(96年選挙では

■ワン・モクタル・アーマド

Wan Mokhtar Ahmad, Tan Sri



エジプトのアール・アザール大学で修士号を取得し、帰国後教師から連邦政界入り。のちに北東部トレンガヌ州政界に転じたベテラン政治家で、1977年から22年間にわたって同州首席相を務め、UMNO 総裁補を兼任したこともある。しかし、昨年11月の総選挙と同時に実施されたトレンガヌ州議会選で PAS が圧勝し、自らも落選するに及んで、州首席相ポストを PAS のハディ・アワン副総裁に明け渡した。

ユソフ・ノール前 UMNO 情宣部長(元公共企業相)と並んで、長らく UMNO を代表

するウラマ(イスラム導師)として知られてきたが、近年は同氏のトレンガヌ州での長期政権から来るマンネリ化やネポティズムには地元 UMNO 議員から批判が噴出していた。また、「同州での PAS の勢力伸張に対抗できる能力を持つのはウラマである自分以外にはいない」との同氏の自負も現実に対する認識を甘くさせていた。同氏が UMNO で「イスラム精神」を象徴する時代はすでに終焉したといえる。

96年の UMNO 役員選挙では最高評議会メンバー(選出:定数25)に12位で当選したが、今年3月の役員選挙には立候補していない。

▼データ

【公職】(前トレンガヌ州首席相)

【年齢】68歳(1932年3月21日生まれ)

【生地】クアラ・トレンガヌのカンボン・

ニサン・ウンバト

【学歴】(クアラ・トレンガヌ)ザイナル・アビディン・スクール

(ベナン)メソジスト・アフター・スクール

1959:エジプト・カイロのアール・アザール大学卒(文学士)

1962:同大学で文学修士号取得

【経歴】

1963:エジプトより帰国、教師として勤務

1964:下院議員に初当選

1977:トレンガヌ州議会議員に転じる
同州首席相(-1999・11)

【党務】UMNO 総裁補

1996:[10月]UMNO 最高評議会メンバー
(定員25人中12位で当選)

2000:[3月]UMNO 役員選挙に出馬せず

【家族】子供:2男3女

野党第一党:全マレーシア・イスラム党(PAS)

■最高顧問 Spiritual Adviser(Mursyidulam)

ニック・アジズ・ニック・マツ

Nik Abdul Aziz Nik Mat, Datuk



PAS の党組織では、宗教(イスラム)面の最高顧問であり、政教一致の同党では政治面のトップであるファジル・ノール総裁より上位に位置付けられている。公職は、PAS が90年以来州政府を担当するクランタン州の首席相。

宗教指導者らしく、ファジル総裁に比べ

ると、政治活動をイスラム布教のための「方便」と捉えている面が強いといわれる。(野党連合の共同綱領にあえて「イスラム国家樹立」という言葉を入れなかったことについて)「良薬でも苦ければ人々は飲まない。我々はイスラムという良薬を糖衣錠にして提供する」(日本経済新聞とのインタビュー:1999年12月27日付)という発言などに、政治に対する同氏の思想が現れている。

▼データ

【公職】クランタン州首席相

【年齢】68歳

【生地】クランタン州コタバル(州都)

【学歴】インド、パキスタンに留学

【経歴】

1967: PAS に入党

1978: PAS クランタン州責任者

1990:(PAS が州議会選で勝利)

クランタン州首席相(-現在)

【横顔】

・ともすれば、そのイスラム至上主義に基づく言説は、公職にある政治家としては問題視されるものが多い。最近では「州政府の男性職員の給与は女性職員よりも高くあるべき」「イスラム教義に従えば、女性は家事に専念すべき」などと発言、マレー人社会の一部でも「女性蔑視」だとして物議を醸した。

■総裁 President(Presiden)

ファジル・モハメド・ノール

Fadzil Mohamed Noor, Datuk



「トロイカ体制」(ニック・アジズ最高顧問、同総裁、ハディ・アワン副総裁)の3

人の PAS 最高首脳の中では、強いて言えば一番世俗主義的な思考が出来るといわれ、政治面のトップを任されている。昨年(1999年)11月の総選挙の結果、民主行動党(DAP)に代わって PAS が野党第一党になったことから、野党院内総務(Opposition Leader)にも就任。マハティール首相の「お膝元」クダ州選出の下院議員(ブンダン選挙区)。63歳。

1979年のイラン革命に影響を受けた PAS

内の「ヤング・タークス」のリーダーとして、当時の民族主義的な指導層を放逐して党の実権を掌握。現在 PAS が州政府を担うクランタン州とトレンガヌ州を「イスラム教義に基づく『民主主義社会』のモデル」にすると豪語する。しかし、そうしたイスラム至上主義の党是を多民族国家マレーシアの連邦政界が将来受容する可能性はあるのだろうか。

■副総裁 Deputy President

(Timbalan Presiden)

アブドゥル・ハディ・アワン

Abdul Hadi Awang



昨年(1999)11月の総選挙で、PAS のトレンガヌ州議会選勝利を受けて同州首席相に

就任。ニック・アジズ最高顧問の「宗教性」とファジル・ノール総裁の「政治性」の双方を兼ね備えた「ウラマ政治家」。クアラルンプールの外交筋は、その豊富な国際経験からも、もし将来 PAS が連邦政治を担うことがあれば、同氏は首相候補の筆頭と見ている。イスラム国家樹立の理想を熱っぽく語る雄弁家で、今最も注目すべき PAS 指導者。

首席相就任後、さっそくトレンガヌ州の酒類販売店を(華人社会などのための)ほん

の少数に制限し、カラオケ店やギャンブル場はすべて閉鎖させるなど、イスラム教義に基づく政策を遂行し始めた。

トレンガヌ州生まれの52歳(1947年10月20日生まれ)。サウジアラビアのマディーナ(メディーナ)イスラム大学とエジプトのアール・アザール大学で学ぶ。2人の夫人との間に13子。趣味は釣り、狩猟、射撃、読書。

(アジア政治アナリスト 勝田 悟)